

県中体連総合大会激励会 校長挨拶

平成30年7月18日（水）

バレーボール部の皆さん、2年連続の県大会出場おめでとうございます。まず皆さんには、周囲からの期待や重圧に負けず、県大会への出場権を獲得したことに改めて自信を持ってほしいと思います。

バレーボール部の活躍の背景には、多くの人たちに支えられて、スポ少の時から様々な経験を積んできたことがあると思います。とりわけ昨年からは、市内外や県内外の中学校や高等学校と、試合経験や練習経験を数多く積んだことによって、技術のみならず、ピンチになっても動じない気持ちの強さを身に付けたことが、活躍の要因としてあげられるのではないのでしょうか。

先日行われた、テニス・ウィンブルドン選手権において、錦織圭選手が苦しみながらも粘り強さを発揮して、見事23年ぶりに日本男子としてベスト8の壁を打ち破りました。バレー部の皆さんの前に立ちはだかる県大会の壁を打ち破ることも、決してたやすいことではないでしょう。しかし、自分たちがこれまで積み重ねてきたことを信じて、昨年突破することのできなかつた県大会1回戦の壁をまずは打ち破ることに集中し、万全の準備をしてください。ピンチの時、苦しい時こそ、都路らしいチーム力、我慢強さや粘り強さを発揮して、納得のいくプレーを存分にできてきてください。

バレーボール部の皆さんの活躍が、全校生や地域の方々に勇気と希望を与えてくれることを願っています。皆さんの健闘を祈ります。